



広報

もりよし

毎月1回発行
発行と編集
秋田県森吉町役場
企画室
TEL(米内沢)44番

新年おめでとうございます

1964



空から見た太平洋湖 (自衛隊提供)

愛の灯で明るく照らせ子のゆくて

一年の計は元旦にあり
生活の合理化は家計簿から
明日への幸福は貯蓄から

1月の行事

1日 新年祝賀会
米内沢公民館 午前11時
前田小学校 午後1時
4日 官庁御用始め
5日 消防出初式
前田中学校 午前10時
15日 成人式
前田小学校 午前11時
(町内全域合同で実施)

人口、世帯数

(38年12月25日)
人口 14,945人
世帯数 2,649戸

人口の異動

(38年1ヶ年)
出生 215人
死亡 105人
転入 452人
転出 781人

明るい町民性の確立を目指して

町長 近藤 富治郎



新年を迎えるに当り、町民各位の御健勝をお祝い申し上げ、榮誉ある我が森吉町のいやさを改めて念願すると共に、願て昨年は、町議会を始め、町民各位、多くの先輩、知人、友人から激励を受け、又、勇気づけられ元気で御奉公できました幸せを、心から感謝申し上げます。

本年度の町政における三十八年度現計予算は

一般会計	二億八百四十八万円
特別会計	一億六千三百四十五万円
合計	三億七千九百九十四万円

町としてのあらゆる冗費を省き、消費的経費の節約をはかり、健全財政の維持に努めると同時に、財政のゆるす限り、産業の振興、公共施設の整備、教育の充実、道路、橋梁の整備改良に全力を尽してまいりました。

町政執行の立場から、昭和三十一年の実施事項、または主なる町のできごとをふりかえって見るとき、我が森吉町が、阿仁部の中心として、大きく発展しつゝ、

1. 前田小学校の新築落成
2. 高校体質改善に当り、米内沢高校に機械科を新設
3. 五味畑に「前田南駅」新設
4. 前田地区に簡易水道布設着工
5. 森吉町、合川町共同で火葬場の新設(上小阿仁村)
6. 浦田、根小屋の耕地整理が完了(約六五町歩)又寄延地区も二十数町歩の耕地整理に着工、今春完了の予定
7. 専売公社の葉たばこ収納所建築、この一月中に落成の予定
8. 公立米内沢病院新築完成
9. 湯ノ岱部落まで併用林道開通
10. 町内の市外通話を改善、即時通話となった。

又、へき地振興の一環として無電話部落解消を促進、

年頭のごあいさつ

議長 高田 俊三



町がたん生してから、早くも八度目の新春を迎えることになりました。

この間、我が森吉町が、阿仁部の中心にふさわしく年々発展を続け、今日に至ったことは、町民の皆様と共に、喜びにたえないところであります。

願みれば、昭和三十五年に以て財政再建整備を完了して参りました。

(青少年を立派に育てる運動)

すが、多くの懸案が山積しており、今後とも、町民各位と、関係筋の積極的な御援助により、最善の努力を決意している次第でございます。

「親切は善意で明るい社会を造り、勤労ははやく喜びと感謝の気持を含み、貯蓄は心にゆとりと将来のために」

本年も、明るく前進をめざして、町民の皆様と共に三つの町是を重ねて提案し、お一層の努力をお誓いいたし、一言所信を述べて新年のごあいさついたします。

森吉町役場

町長 近藤 富治郎
助役 三沢 栄明
収入役 木村 長治郎
外職員一同

森吉町議会

議長 高田 俊三
副議長 金 兵一郎
佐藤 富郎 羽場 盛一
九島 利吉 高嶋 昭二
金 逸郎 春日 一嘉
赤石 元治 春日 多助
佐藤 新太郎 石川 作治
小野 茂七 佐藤 直治
奥田 逸郎 吉田 常蔵
新林 吉郎 右エ門
桜井 正七 片岡 徳二郎
三浦 富三郎 奥田 信明
庄司 堅作 庄司 徳太郎
北林 照助 (議席順)

森吉町教育委員会

委員長 木村 泰二郎
教育長 金 為助

森吉町農業委員会

会長 奥田 信吾



議会だより

追加予算など 十二案件を可決す

休会中の十二月定例会は、二十一日再会され、一般会計追加更正予算案等十二件を何れも原案どおり可決して、同日午後三時十分閉会しました。

○一般会計追加予算
既定額 二億五千八百三十三千円
追加額 二百六十五万三千五百円
累計額 二億八千四百八十八万二千五百円

○米内沢財産区特別会計追加予算
既定額 二億五千八百三十三千円
追加額 二百六十五万三千五百円
累計額 二億八千四百八十八万二千五百円

○町債の借入額の変更
公有林野整備事業起債額百五十万円を百六十万円に変更する。

○町税減免について
火災による罹災世帯及生活扶助家庭三世帯に対する町税を減免する。

○造運材事業の委託契約について
浦支内官行造林地立木の造運材は、二千五百万円

一月十五日に成人式 前田小学校で 午前九時から 受付

一月十五日は「成人の日」で、お祝いであります。前田小学校で、一月十五日午前十一時から挙行としました。

成人の日は、いまでも「おとなになったこと」を自覚して、みづからの力で生き抜こうとする青年を祝います。成人式のご案内を差す。

成人の日は、いまでも「おとなになったこと」を自覚して、みづからの力で生き抜こうとする青年を祝います。成人式のご案内を差す。



「おとなになった」ということ

小田島 邦夫

酒を飲んでも、タバコを吸っても文句をいわれない恋愛と結婚についても真剣に取りくめる年令だ、というように最も実感としておとなになったことを自覚させるものであります。皆さんが二十才になったとき、おとなになったことを自覚させるものであります。皆さんが二十才になったとき、おとなになったことを自覚させるものであります。

「おとなになった」ということは、「社会の一員」に加わったという意味にはあらず、社会に期待すべき責任を負ったこと、社会に貢献しようとする意志をもち、社会の発展に力を尽くすこと、おとなになったこと、おとなになったことを自覚させるものであります。

米内沢財産区有地(長下地内二町歩)について、米内沢共済会と分取林の契約をする。

○財産区有地の処分
大野谷地内原野一町八畝二〇歩を、鶴田部落代表に売却処分する。

○官行造林地一部解除申請
東北電力K区の送電布地とするため、米内沢字長下地内及び寄延沢地内約五ヘクタールの解除申請をする。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
職員給与条例改正であり、十月一日から適用される。改定率は八、一、一、平均一、五九六円の引上げとなる。

○損失補償の契約に関する予算外義務負担について
本城農協が秋田県信連より借入する運営資金四百五十万円について町が損失補償をする。

町政に望むもの

柴田 林之助 (本城)

本年も県のモニター(県政懇話会)に当町から六名の方に町民の声を願いました。原稿を寄せられた方は一名のみでありましたが、紙面を通じて厚く御礼申し上げます。

町政に対する意見と言っている何とも感じないで過日も、毎日仕事に追われてしているが、考えて見れば、

御協力を感謝

才末たすけあいで
59,871円の実績

皆様の御協力により、前年の2倍、59,871円の実績を取めたことを心から御礼申し上げます。

町社福協協議会では、才末たすけあいの趣旨に基づき、次のように配分しました。

- 生活扶助124世帯に対し
一世帯当り 150円
同世帯員一人当り 50円
- 長期療養者(32名)に
お見舞いとして一人200円、を差上げました。

その外、養老院、母子寮、精薄児童の施設などにも、若干の金品と衣服を届けました。皆様の誠意が心から感謝されています。

農薬の保管について

どこの農家でも昨年使用した農薬を幾らか持っていて、残った農薬を、来年の使用時期までどのようにして保管すべきでしょうか。

農薬の保管上まず第一に注意すべきことは、人畜に有害な農薬の保管に注意することです。農薬は毒性のあるものが多く、使い残りの農薬を納屋の片隅や屋内などにダカのまゝで放置するのは危険です。これらはひとまとめで「カギ」のか、農薬専用の保管箱に貯蔵するのが理想的です。

農薬保管上二番目に重要な点は、薬効を落さないこと、品質の保全をはかること、有害防止の観点から規定の農薬保管方法を守ることです。

踏切は左右をよく見て

冬の汽車にご注意

最近、秋鉄管内で、鉄道事故が頻発するようになり、特に冬期間の踏切事故も考えられるので、次の点を厳重にご注意されるようお願いいたします。

踏切を通るときは、左右をよく見て、安全を確かめましょう。

冬の間は、吹雪のため、列車が近づいても、気がつかない場合もあり非常に危険です。

新年雑詠

(米内沢町長)

商心を初日の嶺に擡げた里 (佐藤雀水)

初鶏の一天領す声の張 (奥山亮寛)

年毎にえにし新たな日の出かな (竹田和佳世)

元旦の灯の荘厳に韻溜 (佐藤尚正)

初春の北斗明日へまた、けり (松木松実)

新春の円型校舎陽を集む (庄司孝閑)

初髪の新社礼を厚うされ (北林志秋)